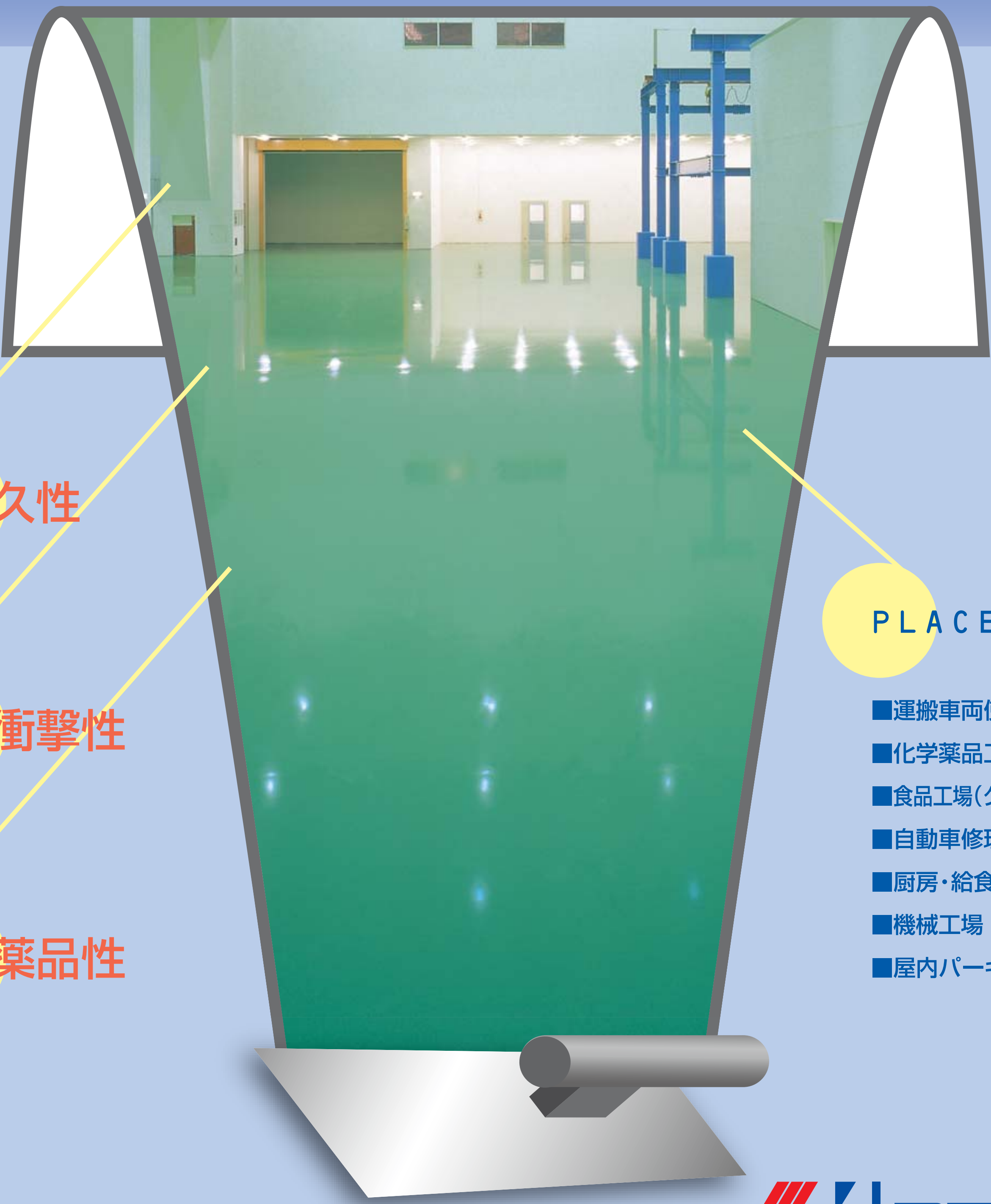
ISO 9001
ISO 14001
JQA-2631（合成樹脂塗料）
JQA-EM3548（本社工場）

JIS K 5970 建物用床塗料 上塗り
認証番号 JP0508057
JIS JP
ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
鉛・クロムフリー

ボウジンテックス

厚膜系2液型 エポキシ樹脂塗料 #8000



耐久性

耐衝撃性

耐薬品性

PLACE

- ■運搬車両使用工場
- ■化学薬品工場・印刷工場
- ■食品工場（クリーンルーム）
- ■自動車修理工場
- ■厨房・給食室
- ■機械工場
- ■屋内パーキング

ミズタニ

SELECT

優れたレベリング性、耐久性、耐薬品性

強靭で平滑な塗膜が得られる、レベリング性の良い厚膜タイプ。エポキシ樹脂ならではの特に優れた耐摩耗性・耐衝撃性や耐水性・耐薬品性・耐油性を発揮して、過酷な場所での使用にも充分耐える塗り床材です。

特 長

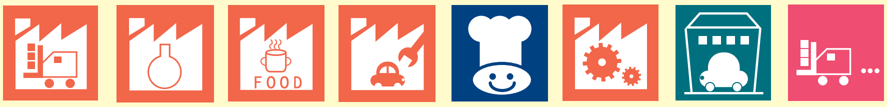
F☆☆☆☆ ホルムアルデヒドの発散は少ない 建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている。

1. 厚膜タイプの高級仕上げ
2. 強靭で光沢のある美しい床面が得られる
3. 耐衝撃性や耐摩耗性がよく耐久性に優れてる
4. 特に耐水性、耐薬品性、耐油性に優れている
5. 用途、目的により多様な仕様が可能
6. 抗菌仕様も可能

用 途

1. 強靭で耐久性、耐摩耗性を必要とする工場や倉庫
2. 強靭で耐久性、耐摩耗性を必要とする車両通行通路
3. 食品や薬品を取り扱う工場や研究所
4. 油をよく使う機械工場や自動車修理工場
5. 食品工場や病室、診察室など抗菌効果が必要な床

PLACE



運搬車両使用工場　化学薬品工場・印刷工場　食品工場・クリーンルーム　自動車修理工場　厨房・給食室　機械工場　屋内パーキング　車両通行通路

性 能

試験項目	試験方法	結 果
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付1000μm，60度	90以上
引っかき硬度（鉛筆法）	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	2H
耐摩耗性(mg)(摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g×2，1000回転	55±5
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に7日間浸漬	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸漬	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸漬	異常なし
耐温水性	50℃温水に48時間浸漬	異常なし
ホルムアルデヒド放散量	JIS K 5970　デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆

耐薬品性

試験方法：JIS A 5705ビニル系床材の汚染性試験に準じ48時間スポット試験

薬品の種類	薬品の名称	結果
アルカリ類	水酸化ナトリウム　5%	◎
	水酸化カルシウム	◎
	アンモニア水　5%	◎
塩類	炭酸バリウム	◎
	重炭酸ナトリウム	◎
	炭酸ナトリウム	◎
	塩化カルシウム	◎
	硫酸カルシウム	◎
	過マンガン酸カリウム5%	○
溶剤	トルエン	△
	アセトン	△
	キシレン	△
	メタノール	△
	エタノール	△
	ベンゼン	○
生活材	動植物油	◎
	ガソリン	○
	マシン油	◎
	食塩水	◎
	醤油	◎
	酒類	◎
	洗剤類	◎

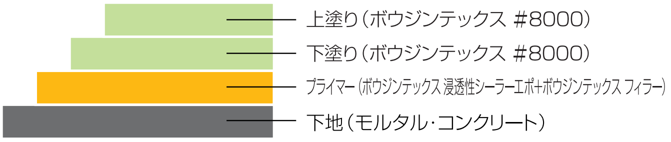
薬品の種類	薬品の名称	結果
消毒剤	逆性石鹸　5%	◎
	クレゾール石鹸　5%	△
	マーキュロクロム	◎
	消毒用アルコール	○
	次亜塩素酸ナトリウム1%	△
	ヨードホルム	○
	過酸化水素水　10%	◎
	フェノール　5%	△
	ホルマリン	○
無機酸	硫酸	○
	硝酸	△
	塩酸	○
	クロム酸	△
	燐酸	○
有機酸	蟻酸	△
	蓚酸	○
	酢酸	○
	乳酸	○
	酪酸	△
	酒石酸	◎
	ステアリン酸	◎
	オレイン酸	◎

評価　◎:異常なし　○:適性あり　△:すぐに処理するのであれば可

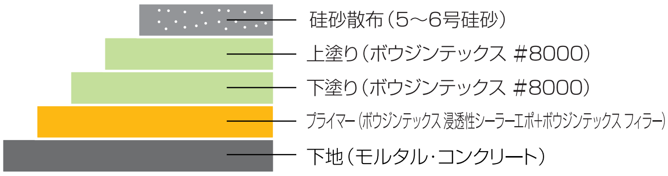
注意:　溶剤等揮発性の高い薬品は試験時間内に蒸発しているので、48時間スポット試験になっておらず、揮発するまでの評価とした。また、高濃度の欄で評価がないものについては使用不可とする。
耐薬品性は、薬品の濃度が変化しますと結果も変化しますのでご注意ください。
薬品の使用状態によっては表中と異なった結果となる場合がありますのでご注意ください。

塗装工程　流し延べ工法（膜厚1～2mm）

●平滑仕上げ



●防滑仕上げ



塗装仕様

■平滑仕上げ（平滑約1mm仕上げ）

工程	使用塗料	希釈割合 シンナー	塗装方法	塗回数 （回）	塗付量 （kg/㎡/回）	塗面積 （㎡/缶セット）	可使時間 （23℃）	塗装間隔（23℃） 工程内	 工程間	 歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャー又はライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
プライマー	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	——	ハケ ローラー	1	0.16～0.20 （フィラー含む）	83～103	1h以内	——	4h以上 48h以内	——
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	——	金ゴテ レーキ	1	0.4	37.5	20分	——	16h以上 48h以内	——
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	——	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分	——	——	16h以上 完全硬化2日以上

※シーラー塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。（工程内塗装間隔1時間以上）

抗菌工法の場合

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数	塗付量	塗面積	可使時間	工程内	工程間	歩行可能
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000抗菌 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	——	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分	——	——	16h以上 完全硬化2日以上

※抗菌工法は上塗りにボウジンテックス #8000抗菌をご使用ください。

■防滑仕上げ（防滑約1.5mm仕上げ）

工程	使用塗料	希釈割合 専用希釈剤	塗装方法	塗回数 （回）	塗付量 （kg/㎡/回）	塗面積 （㎡/缶セット）	可使時間 （23℃）	塗装間隔（23℃） 工程内	 工程間	 歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャー又はライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
プライマー	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	——	ハケ ローラー	1	0.16～0.20 （フィラー含む）	83～103	1h以内	——	4h以上 48h以内	——
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	——	金ゴテ	1	0.4	37.5	20分	——	16h以上 48h以内	——
ベースコート 中塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	——	金ゴテ	1	1.0	15	20分	——	16h以上 48h以内	——
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	0.45L	金ゴテ	1	0.5	30	20分	——	——	16h以上 完全硬化2日以上
硅砂散布	上塗り塗装と同時に5号硅砂（0.3～0.4kg／㎡）を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす									

※シーラー塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。（工程内塗装間隔1時間以上）

その他の下塗り材

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数	塗付量	塗面積	可使時間	工程内	工程間	歩行可能
プライマー	ボウジンテックス ハイEプライマー 主剤12kg 硬化剤4kg フィラー3kg	0～2L #2000シンナー	ハケ ローラー	1	0.16～0.20 （フィラー含む）	95～119	1h以内	——	3h以上 48h以内	——

※研掃機等にて下地処理を行った場合はハイEプライマーが塗装可能です。
※プライマーのすい込みがはげしい場合はフィラーなしのハイEプライマーを再度塗装してください。（工程内塗装間隔1時間以上）
※塗付量にはシンナーは含まれていません。

注意事項

1．気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは硬化不良をおこすことがありますので施工を見合わせてください。
2．エポキシ樹脂塗料は直射日光により変色致しますので、外部への塗装は避けてください。尚、日差しの入り込む窓際への塗装もご注意ください。
3．低温時に施工した塗膜は水と接触すると表層白化する場合があります。施工後の清掃において水拭きした場合、塗膜表面が白化しますので空拭きにて清掃してください。万一、水を含んだモップ等にて清掃された場合、水を含んでいないモップにて水分を完全に拭き取ってください。
4．主剤と硬化剤をハンドミキサーで泡を巻き込まないように充分撹拌してください。
5．撹拌後は速やかに被塗面に流してください。（可使時間内に使用してください）
6．ベースコート下塗りは巣穴にすり込むようにしごき塗りをしてください。
7．クラック・フウセン等の処理は、エポキシパテ及び増粘剤調整塗料にて行ってください。
8．粘度調整で希釈を行う場合は、専用希釈剤を塗料に対して、約1%（150cc）から約3%（450cc）までの添加にしてください。
　また他のシンナー等での希釈は行わないでください。強度不足・硬化不良の原因となります。
9．防滑仕上げに使用する硅砂は5～6号硅砂を使用し、ベースコート上塗りを金ゴテで広げた後に硅砂散布し、ローラーにて面を整えてください。
10．塗膜や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。換気が不充分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
11．静電気をきらう床には施工しないでください。
12．化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、充分にご注意ください。
13．塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
14．製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

塗装工程　ペースト工法（膜厚2～3mm）

●平滑仕上げ

●防滑仕上げ

塗装仕様

■平滑仕上げ（平滑約2mm仕上げ）

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数	塗付量	塗面積	可使時間	塗装間隔（23℃）		
		シンナー		（回）	(kg/㎡/回)	(㎡/缶セット)	（23℃）	工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャー又はライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
プライマー	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	――	ハケ ローラー	1	0.16～0.20 （フィラー含む）	83～103	1h以内	――	4h以上 48h以内	――
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 硅砂10kg	――	金ゴテ レーキ	1	2.2 （硅砂含む）	11.4	20分	――	16h以上 48h以内	――
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	――	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分	――	――	16h以上 完全硬化2日以上

※シーラー塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。（工程内塗装間隔1時間以上）

抗菌工法の場合

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数	塗付量	塗面積	可使時間	工程内	工程間	歩行可能
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000抗菌 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	――	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分	――	――	16h以上 完全硬化2日以上

※抗菌工法は上塗りにボウジンテックス #8000抗菌をご使用ください。

■防滑仕上げ（防滑約2mm仕上げ）

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数	塗付量	塗面積	可使時間	塗装間隔（23℃）		
		専用希釈剤		（回）	(kg/㎡/回)	(㎡/缶セット)	（23℃）	工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャー又はライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
プライマー	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	――	ハケ ローラー	1	0.16～0.20 （フィラー含む）	83～103	1h以内	――	4h以上 48h以内	――
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 硅砂10kg	――	金ゴテ レーキ	1	2.6 （硅砂含む）	9.6	20分	――	16h以上 48h以内	――
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	0.45L	金ゴテ レーキ	1	0.5	30	20分	――	――	16h以上 完全硬化2日以上
硅砂散布	上塗り塗装と同時に硅砂（0.3～0.4kg／㎡）を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす									

※シーラー塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。（工程内塗装間隔1時間以上）

アンダーコート仕様

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数	塗付量	塗面積	可使時間	工程内	工程間	歩行可能
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000アンダーコート 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 硅砂10kg	――	金ゴテ レーキ	1	2.2 （硅砂含む）	11.4	20分	――	16h以上 48h以内	――

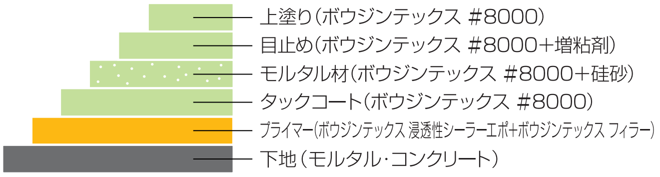
※下塗り材に上記ボウジンテックス #8000アンダーコートを使用することにより、経済的な仕様が可能です。

注意事項

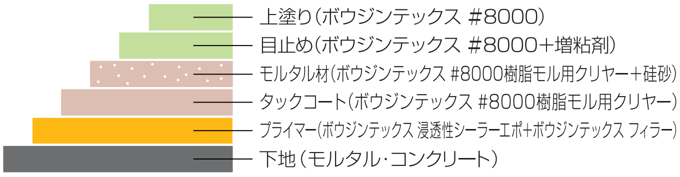
１．気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは硬化不良をおこすことがありますので施工を見合わせてください。
２．エポキシ樹脂塗料は直射日光により変色致しますので、外部への塗装は避けてください。尚、日差しの入り込む窓際への塗装もご注意ください。
３．低温時に施工した塗膜は水と接触すると表層白化する場合があります。施工後の清掃において水拭きした場合、塗膜表面が白化しますので空拭きにて清掃してください。万一、水を含んだモップ等にて清掃された場合、水を含んでいないモップにて水分を完全に拭き取ってください。
４．主剤と硬化剤をハンドミキサーで泡を巻き込まないように充分撹拌してください。
５．撹拌後は速やかに被塗面に流してください。（可使時間内に使用してください）
６．クラック・フウセン等の処理は、エポキシパテ及び増粘剤調整塗料にて行ってください。
７．粘度調整で希釈を行う場合は、専用希釈剤を塗料に対して、約1%（150cc）から約3%（450cc）までの添加にしてください。また他のシンナー等での希釈は行わないでください。強度不足・硬化不良の原因となります。
８．ベースコート下塗りに使用する硅砂は6～7号硅砂を使用してください。
９．防滑仕上げに使用する硅砂は5～6号硅砂を使用し、ベースコート上塗りを金ゴテで広げた後に硅砂散布し、ローラーにて面を整えてください。
10．塗膜や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。換気が不充分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
11．静電気をきらう床には施工しないでください。
12．化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、充分にご注意ください。
13．塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
14．製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

塗装工程 樹脂モルタル工法・平滑仕上げ（膜厚5mm）

●エナメル使用



●クリヤー使用



塗装仕様

■エナメル使用（平滑約5mm仕上げ）

工程	使用塗料	希釈割合 シンナー	塗装方法	塗回数（回）	塗付量（kg/㎡/回）	塗面積（㎡/缶セット）	可使時間（23℃）	塗装間隔（23℃） 工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャー又はライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
プライマー	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	—	ハケ ローラー	1	0.16～0.20（フィラー含む）	83～103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	—	金ゴテ レーキ	1	0.3	50	20分	—	0.5h以内	—
ベースコート モルタル材	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 硅砂90kg	—	金ゴテ	1	8.0（硅砂含む）	13	20分	—	14h以上 48h以内	—
目止め	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 増粘剤0.9kg～	—	金ゴテ	1	0.5（増粘剤含む）	32	20分	—	12h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	—	金ゴテ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

※ベースコートモルタル材に使用する硅砂は、5号を60kgと6号を30kgにて使用してください。
※シーラー塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。（工程内塗装間隔1時間以上）

■クリヤー使用（平滑約5mm仕上げ）

工程	使用塗料	希釈割合 シンナー	塗装方法	塗回数（回）	塗付量（kg/㎡/回）	塗面積（㎡/缶セット）	可使時間（23℃）	塗装間隔（23℃） 工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャー又はライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
プライマー	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	—	ハケ ローラー	1	0.16～0.20（フィラー含む）	83～103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ボウジンテックス #8000樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg	—	金ゴテ レーキ	1	0.3	70	20分	—	0.5h以内	—
ベースコート モルタル材	ボウジンテックス #8000樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg 硅砂170kg	—	金ゴテ	1	8.0（硅砂含む）	24	20分	—	14h以上 48h以内	—
目止め	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 増粘剤0.9kg～	—	金ゴテ	1	0.5（増粘剤含む）	32	20分	—	12h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	—	金ゴテ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

※ベースコートモルタル材に使用する硅砂は、5号を90kgと6号を80kgにて使用してください。
※シーラー塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。（工程内塗装間隔1時間以上）

抗菌工法の場合

ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000抗菌 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	—	金ゴテ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

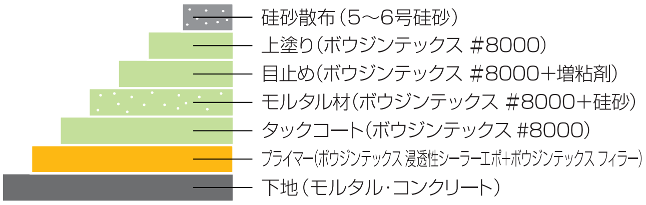
※抗菌工法は上塗りにボウジンテックス #8000抗菌をご使用ください。

注意事項

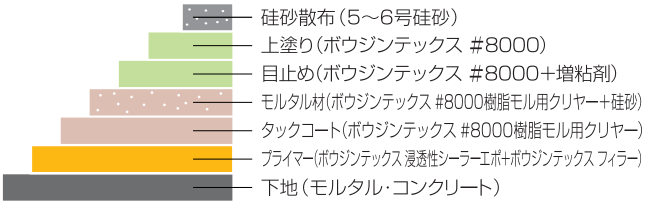
■注意事項は6ページの樹脂モル仕上げをご参照ください。

塗装工程 樹脂モルタル工法・防滑仕上げ(膜厚5mm)

●エナメル使用



●クリヤー使用



塗装仕様

■エナメル使用(防滑約5mm仕上げ)

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数	塗付量	塗面積	可使時間	塗装間隔(23℃)		
		専用希釈剤		(回)	(kg/㎡/回)	(㎡/缶セット)	(23℃)	工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャー又はライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
プライマー	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	——	ハケ ローラー	1	0.16～0.20 (フィラー含む)	83～103	1h以内	——	4h以上 48h以内	——
タックコート	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	——	金ゴテ レーキ	1	0.3	50	20分	——	0.5h以内	——
ベースコート モルタル材	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 硅砂90kg	——	金ゴテ	1	8.0 (硅砂含む)	13	20分	——	14h以上 48h以内	——
目止め	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 増粘剤0.9kg~	——	金ゴテ	1	0.5 (増粘剤含む)	32	20分	——	12h以上 48h以内	——
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	0.45L	金ゴテ	1	0.5	30	20分	——	——	16h以上 完全硬化2日以上
硅砂散布	上塗り塗装と同時に硅砂(0.3～0.4kg/㎡)を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす									

※ベースコートモルタル材に使用する硅砂は、5号を60kgと6号を30kgにて使用してください。
※シーラー塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1時間以上)

■クリヤー使用(防滑約5mm仕上げ)

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数	塗付量	塗面積	可使時間	塗装間隔(23℃)		
		専用希釈剤		(回)	(kg/㎡/回)	(㎡/缶セット)	(23℃)	工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャー又はライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
プライマー	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	——	ハケ ローラー	1	0.16～0.20 (フィラー含む)	83～103	1h以内	——	4h以上 48h以内	——
タックコート	ボウジンテックス #8000樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg	——	金ゴテ レーキ	1	0.3	70	20分	——	0.5h以内	——
ベースコート モルタル材	ボウジンテックス #8000樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg 硅砂170kg	——	金ゴテ	1	8.0 (硅砂含む)	24	20分	——	14h以上 48h以内	——
目止め	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 増粘剤0.9kg~	——	金ゴテ	1	0.5 (増粘剤含む)	32	20分	——	12h以上 48h以内	——
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	0.45L	金ゴテ	1	0.5	30	20分	——	——	16h以上 完全硬化2日以上
硅砂散布	上塗り塗装と同時に硅砂(0.3～0.4kg/㎡)を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす									

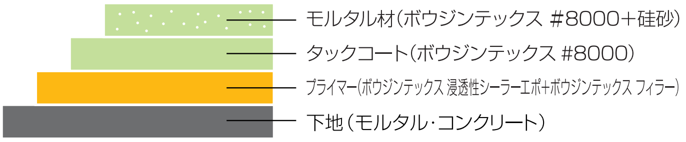
※ベースコートモルタル材に使用する硅砂は、5号を90kgと6号を80kgにて使用してください。
※シーラー塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1時間以上)

注意事項

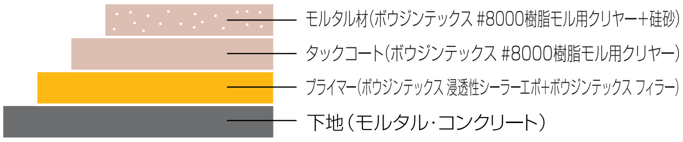
■注意事項は6ページの樹脂モル仕上げをご参照ください。

塗装工程　樹脂モルタル工法・樹脂モル仕上げ（膜厚5mm）

●エナメル使用



●クリヤー使用



塗装仕様

■エナメル使用（約5mm仕上げ）

工程	使用塗料	希釈割合 シンナー	塗装方法	塗回数（回）	塗付量（kg/㎡/回）	塗面積（㎡/缶セット）	可使時間（23℃）	塗装間隔（23℃） 工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャー又はライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
プライマー	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	—	ハケ ローラー	1	0.16~0.20（フィラー含む）	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ボウジンテックス ＃8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	—	金ゴテ レーキ	1	0.3	50	20分	—	0.5h以内	—
ベースコート モルタル材	ボウジンテックス ＃8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 硅砂90kg	—	金ゴテ	1	10.5（硅砂含む）	10	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

※ベースコートモルタル材に使用する硅砂は、5号を60kgと6号を30kgにて使用してください。
※シーラー塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。（工程内塗装間隔1時間以上）

■クリヤー使用（約5mm仕上げ）

工程	使用塗料	希釈割合 シンナー	塗装方法	塗回数（回）	塗付量（kg/㎡/回）	塗面積（㎡/缶セット）	可使時間（23℃）	塗装間隔（23℃） 工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャー又はライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
プライマー	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	—	ハケ ローラー	1	0.16~0.20（フィラー含む）	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ボウジンテックス ＃8000樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg	—	金ゴテ レーキ	1	0.3	70	20分	—	0.5h以内	—
ベースコート モルタル材	ボウジンテックス ＃8000樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg 硅砂170kg	—	金ゴテ	1	10（硅砂含む）	19	20分	—	14h以上 48h以内	16h以上 完全硬化2日以上

※ベースコートモルタル材に使用する硅砂は、5号を90kgと6号を80kgにて使用してください。
※シーラー塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。（工程内塗装間隔1時間以上）

注意事項

1．気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは硬化不良をおこすことがありますので施工を見合わせてください。
2．エポキシ樹脂塗料は直射日光により変色致しますので、外部への塗装は避けてください。尚、日差しの入り込む窓際への塗装もご注意ください。
3．低温時に施工した塗膜は水と接触すると表層白化する場合があります。施工後の清掃において水拭きした場合、塗膜表面が白化しますので空拭きにて清掃してください。万一、水を含んだモップ等にて清掃された場合、水を含んでいないモップにて水分を完全に拭き取ってください。
4．クリヤーは上塗り用として使用不可です。
5．主剤と硬化剤をハンドミキサーで泡を巻き込まないように充分撹拌してください。
6．撹拌後は速やかに硅砂と混合してください。混合にはモルタルミキサーを使用してください。
7．タックコートを塗付後30分以上おくとモルタル材が付着しなくなるので速く施工してください。
8．クラック・フウセン等の処理は、プライマー養生後、エポキシパテ及び増粘剤調整塗料にて行ってください。
9．粘度調整で希釈を行う場合は、専用希釈剤を塗料に対して、約1%（150cc）から約3%（450cc）までの添加にしてください。
また他のシンナー等での希釈は行わないでください。強度不足・硬化不良の原因となります。
10．ベースコートモルタル材に使用する硅砂の組み合わせは、3号～6号硅砂の組み合わせで可能です。（3号+6号は不可）
また硅砂の組み合わせによって、塗料と硅砂の比率が変わりますのでご注意ください。
11．樹脂モル仕様は、4mm以上で行います。
12．塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。換気が不充分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
13．静電気をきらう床には施工しないでください。
14．化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、充分にご注意ください。
15．塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
16．製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

カラーサンプル

注）この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。
発注の際は色見本帳または塗り板で色を確認してください。

No.19　ライトグレー
No.16　ライトベージュ
No.17　ベージュ
No.21　フレッシュグリーン
No.30　フィーバーグリーン
No.9　ライトグリーン
No.32　グレー
No.29　ニューブラウン
No.10　グリーン

硬化時間

気温	硬化剤	可使時間	歩行可能時間	完全硬化
30℃	S型	30分	16h以上	2日以上
20℃	M型	20分	16h以上	2日以上
10℃	W型	30分	20h以上	3日以上

荷 姿

上塗り材

ボウジンテックス #8000……………15kgセット
（主剤12.5kg／硬化剤2.5kg）

ボウジンテックス #8000抗菌………15kgセット
（主剤12.5kg／硬化剤2.5kg）

ボウジンテックス #8000樹脂モル用クリヤー…21kgセット
（主剤15kg／硬化剤6kg）

中塗り材

ボウジンテックス #8000アンダーコート…15kgセット
（主剤12.5kg／硬化剤2.5kg）

下塗り材

ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ……14kgセット
（主剤10.5kg／硬化剤3.5kg）

ボウジンテックス ハイEプライマー……16kgセット
（主剤12kg／硬化剤4kg）

希釈剤

ボウジンテックス #8000専用希釈剤……16L･4L
ボウジンテックス #2000シンナー………16L･4L
（ハイEプライマー用）

副資材

ボウジンテックス フィラー………………………5kg

MIZTANI

水谷ペイント株式会社

本　　社　〒532-0006　大阪市淀川区西三国4-3-90　☎(06)6391-3151　FAX(06)6393-1101
大阪支店　〒532-0006　大阪市淀川区西三国4-3-90　☎(06)6391-3401　FAX(06)6391-3456
西日本開発部　〒532-0006　大阪市淀川区西三国4-3-90　☎(06)6391-3401　FAX(06)6391-3456
東京支店　〒101-0032　東京都千代田区岩本町1-4-5　NS岩本町ビル　☎(03)3865-8177　FAX(03)3865-8760
東日本開発部　〒101-0032　東京都千代田区岩本町1-4-5　NS岩本町ビル　☎(03)3865-8177　FAX(03)3865-8760
北関東支店　〒348-0038　埼玉県羽生市小松台2-705-22　☎(048)563-0355　FAX(048)563-5124
中部支店　〒486-0815　愛知県春日井市十三塚町3-6　☎(0568)85-3551　FAX(0568)85-3556
広島支店　〒734-0022　広島市南区東雲1-13-16　☎(082)284-6556　FAX(082)283-0017
福岡支店　〒811-2304　福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1　☎(092)611-5731　FAX(092)621-2301
仙台営業所　〒984-0042　仙台市若林区大和町1-22-36　☎(022)782-6770　FAX(022)232-6871
札幌営業所　〒003-0006　札幌市白石区東札幌6条5-2-6　☎(011)824-5711　FAX(011)824-6464
工　　場　本社・埼玉・中部・広島・福岡

塗料相談室　塗料に関するご質問、お問い合わせは…

☎ 06-6391-3039
営業時間：午前 9:00〜12:00　午後 1:00〜3:00

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1808050244616